

平成31年

第1回仙北市議会臨時会

市 政 報 告

仙 北 市

平成31年第1回仙北市議会臨時会 市政報告

平成31年第1回仙北市議会臨時会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、一般会計補正予算(第10号)についてです。

補正額は179万3千円の減額で、補正後の額は209億2,066万6千円です。補正事業は、庁舎整備事業費です。

継続費の補正は、新角館庁舎の建設工事等を平成30年度に着手するための追加設定です。

次に、平成31年度当初予算についてです。

平成31年度一般会計の当初予算は、現在、最終の調整を行っています。これまで以上に事業の精査や歳入の確保に努めましたが、新角館庁舎や総合給食センターの建設など、市民生活を支える事業で予算規模が拡大し、総額は約211億2,000万円前後となる見込みです。新年度予算を上程する2月定例会で、ご審議いただきますようお願いいたします。

それでは、各部局等の主要事項並びに諸般の状況を報告します。

【総務部】

◇総合教育会議について

1月15日、今年度第3回総合教育会議を開催しました。

会議では、保護者や地域住民の皆様から学校適正配置にご理解をいただいた中川小学校の今後の進め方について協議し、その時期は同校の保護者の意見集約の状況を最優先すべきとの判断で、平成31年度に角館小学校との学校間交流を実施し、平成32年4月からスタートすることが望ましいとの結論に至りました。今後も協議を重ね、保護者の不安を一つひとつ解消しながら丁寧に進めます。

なお、桧木内中学校については教育や地域のあり方等も含め、今後

も継続的に意見交換を重ねていくことになりました。

また、教育委員会から育英奨学資金貸与制度の健全・円滑な運用強化について案が示され、今後、有識者会議を開催し制度の検討等を行い、健全な運用に努めるとの報告がありました。

◇ホームページのスマートフォン版運用と新サービスについて

12月末から、スマートフォンに対応した仙北市ホームページの運用を開始しました。スマートフォンから手軽に市ホームページを閲覧することができます。さらに、市民から写真情報などをお寄せいただく「みんなの情報窓口(略称みんなまど)」のサービスを、2月1日から始める予定です。ほぼ市職員の手づくりシステムで、例えば道路破損状況や危険箇所等の情報、空き家の現状等を投稿いただき、田沢湖・角館・西木の各地域センターと建設部・総合防災課等が窓口となり改善対応を行います。

◇公共施設の敷地内全面禁煙について

健康増進法の一部を改正する法律の施行等を受け、これまで受動喫煙防止対策について検討を重ねてきました。その結果、4月1日から公共施設の敷地内について全面禁煙を実施する予定です。2月1日号広報やホームページで周知を図ります。

◇東北SDGs未来都市サミットについて

昨年、SDGs未来都市の選定を受けた東北の3市町(仙北市・宮城県東松島市・山形県飯豊町)で、「東北SDGs未来都市サミット」を発足しました。先週1月25日には東松島市を会場に「第1回東北SDGs未来都市サミット」を開催し、青柳議長にもご同行をいただきました。

約300人が参加したサミットでは、3首長のパネルディスカッションや講演を行い、SDGs未来都市サミット宣言では、東北から日本を盛り上げ、地方創生を図り、住み続けられるまちづくりに向けて緊密に連携することを誓い合いました。来年度の会場は仙北市になります。

◇消防出初式について

1月6日、仙北市民会館を会場に仙北市消防出初式を開催しました。消防団員401人が参加し、市民会館横の旧秋木工場跡地から分列行進を行い、その後挙行了した式典では、これまで長年にわたり消防活動に功績のあった皆様の表彰、また、消防団幹部として退職された方々への感謝状贈呈などを行いました。

【観光商工部】

◇「秋田県秋の大型観光キャンペーン」の実績等について

昨年の9月から11月まで3ヶ月間、JR東日本グループ・秋田県・市町村並びに観光事業者等が協力し、「秋田県秋の大型観光キャンペーン」が展開されました。速報値ですが、期間中の県全体の入込客数は、前年比13.6%増の873万9,000人で、仙北市の入込客数は、天候に恵まれなかったものの前年並みの94万6,000人でした。

◇デジタルプロモーション事業について

国外に対し、さらに仙北市の認知度を高めようと、外国人目線でプロモーション映像を作成しました。撮影にあたって、多くの市民からご協力いただきました。この場をお借りし、心よりの感謝を申し上げます。映像は、12月12日から国際交流推進室の公式SNSを通じ、台湾・東南アジア・英語圏の地域に発信しています。2種類の動画再生回数を合わせると既に70万3,000回を超えています。今後も映像を発信しながら、仙北市に興味を持つ訪日外国人旅行者の年齢傾向等、また、プロモーションの有効性について分析を進め、交流人口と観光消費額の拡大に取り組みます。

◇多言語パンフレットの作成について

仙北市は訪日外国人旅行者が増加し、国や地域も多岐にわたるなど、合併時とは状況が大きく異なっています。このため、当初に作成したものから、今年度は英語版と繁体版の2言語について、訪日外国人旅行

者の目線に徹底してこだわったパンフレットに一新しました。ホームページにも掲載し、デジタルとリアルの融合で旅マエの認知度向上、旅ナカの滞在時間拡大を図ります。

◇東北観光復興交付金事業について

AKITAスノーリゾート推進事業を立ち上げ、たざわ湖スキー場エリアへの誘客、滞在時間の拡大、リピーター率の向上などに取り組んでいます。また、韓国旅行エージェントと連携した仙台空港からの二次交通網の整備と、スキーを滑ることができなくても家族で楽しめるスノーエリアをスキー場内に整備する実証実験は、2月中旬から行います。

また、同交付金を活用した大仙市・美郷町との連携事業は、最終年度の今年度、これまで作成したプロモーションツールを活用して、オーストラリアや台湾へのセールスプロモーションを実施しました。サイクリングで訪れるインバウンド受入態勢の構築を進めています。

以上、主要事項並びに諸般の報告を申し上げます。本臨時会に提案している案件は、予算関係1件です。

慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げます、市政報告とします。